

第4次野辺地町行財政改革大綱 実施計画

改革事項	(7)財政の安定化			ア 長期的な財政計画の策定等
改革項目	時差出勤の導入による時間外勤務手当の削減			担当部署 総務課
年度計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
年度目標	時差出勤の検討	時差出勤の導入 例規の施行	時差出勤の導入効 果検証	(検証結果次第)
実施概要	時差出勤検討委員 会を立ち上げる。 環境整備・例規整 備等の準備。	H29年4月実施。	成果を検証し継続 するか検討する。	(検証結果次第)

年度計画	平成28年度		
年度目標	時差出勤の検討		
実施状況 及 び 今 後 の 進 行 計 画	実施状況		
	時差出勤検討委員会は未設置。		
	今後の進行計画		
	税務課の勤務時間外業務、社会教育・スポーツ課の休日等の業務に対し、時差出勤を導入することで担当職員の働きやすい職場環境と時間外勤務手当の縮減が図られると思われるため、今後、意見を求め検討していきたい。		
問題点等	一般的に時差出勤導入の背景としては、首都圏をはじめとした通勤ラッシュの回避、ライフ・ワーク・バランスが挙げられるが、時間外勤務手当の経費縮減を主な焦点として向けられる導入は避けたい。		

年度計画	平成29年度		
年度目標	時差出勤の導入、例規の施行 現状の調査・検討(年度目標の修正)		
実施状況 及 び 今 後 の 進 行 計 画	実施状況		
	平成29年度に課長・所属長を対象に導入にあたってのメリット・デメリットの調査を実施。 調査結果については、公表はしていない。		
	今後の進行計画		
	今後、必要に応じて意見を求め検討していきたい。 次期行財政改革へ課題は持ち越す。		
問題点等			

年度計画	平成30年度		
年度目標	時差出勤の導入効果検証 現状の調査・検討(年度目標の修正)		
実施状況 及 び 今 後 の 進 行 計 画	今後の進行計画		
	今後、必要に応じて意見を求め検討していきたい。 次期行財政改革へ課題は持ち越す。		
問題点等			